

緊急時放出に備えた国家備蓄石油及び国家備蓄施設の管理委託費（石油分）

平成30年度予算額 432.0億円（437.3億円）

事業の内容

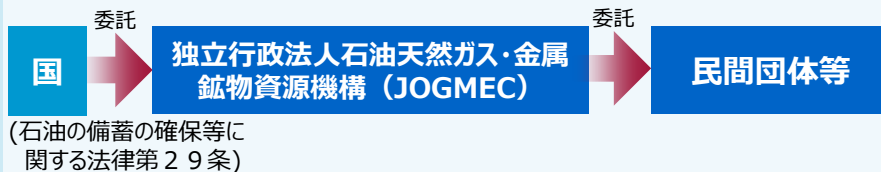
事業目的・概要

- 原油のほぼ全量を中東等の産油国からの輸入に依存する我が国は、産油国地域の政情不安等により原油輸入が途絶する事態等を想定し、国民生活への深刻な打撃を回避するための備えを確保することが必要です。
- 我が国では、石油備蓄法に基づき、約5,000万kLの国家備蓄原油を保有し、そのうち約3,400万kLを全国10箇所にある国家石油備蓄基地に蔵置しています。
- 本事業は、国家石油備蓄基地と、そこに蔵置する国家備蓄原油を安全かつ効率的に管理し、危機発生時に機動的な放出を行うことができる体制を維持する事業です。
- 具体的には、以下のような事業を実施しています。
 - ✓ 基地の管理（法定点検、修繕、耐震強化、緊急時訓練等）
 - ✓ 原油の管理（原油の油種入替、基地間転送等）

成果目標

- 原油輸入が途絶する事態等を想定し、石油備蓄法に基づき約5,000万KLの国家備蓄原油を保有・管理することにより、国民生活への深刻な打撃を回避し、石油の安定供給を確保する。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ



安全操業のため、基地施設及び原油の管理業務、タンク等の基地施設・設備の補修・保全工事及び点検業務等を実施

